（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス LUMO守口第二校			
○保護者評価実施期間	2025年　1月24日		～	2025年　2月3日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	17	（回答者数）	8
○従業者評価実施期間	2025年　2月1日		～	2025年　2月10日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	4	（回答者数）	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年　2月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	週5開校のため、子どもたちにとって、職員の顔ぶれが毎週同じことは、安心感につながる。	積極的にコミュニケーションを取り、顔と名前を覚えてもらうようにしている。	子どもたちがより安心できるよう、たくさんコミュニケーションをとって信頼関係を構築していく。
2	他事業所や相談支援員と積極的にコミュニケーションを図り、また、市の基幹施設とも関係構築を進めている。	積極的に他事業所さんが集まる研修や、イベント事に参加し、外部とのコミュニケーションを意識している。	事業所がある地域だけではなく、サービス提供地域に含まれている事業所や相談支援員、基幹施設ともコミュニケーションを図り、関係を構築していく。
3	職員間で子ども達の情報（様子）を共有しながら、子どもにあわせた運動をおこなっている。	利用者の児童や保護者との様子や変化、会話で知ったことなどLUMO以外での姿を記録し情報を共有している。	情報を活かしながら、それぞれの子どもに合わせた運動を考えて、メニューを取り組んでいく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児童が増えずらい。	地域や、サービスが必要な人に対して認知度が低い。	相談支援事業所への認知活動や地域のイベントに参加し、認知されるよう取り組んでいく。
2	個々の指導員の原始反射に対する知識量がまだまだ未熟。	職員の移動や退職などで入社歴が、1年を越える者がいない。	日々の業務のなかで時間をつくり、研修で教わった事を共有しあう。 日々の運動のなかで意識する。
3	保護者とのコミュニケーションが少ない。	送迎の際のフィードバック時にしか保護者とのコミュニケーションがとれていない。	LINEなどで授業の様子などをこまめに伝えながら保護者とコミュニケーションをとる機会を増やしていく。